

平成30年度南富良野大乘会事業実績報告書

1. 総括

平成30年度は、社会福祉法が求めている、法人運営の「ガバナンスの強化」、「事業運営の透明性」、「財務規律の強化」、「地域貢献の取組」等を推進するために地域の福祉ニーズに対応した運営・経営に努めました。

また、慢性的な福祉人材の不足の課題では、法人独自で事業所見学会や各学校に赴き事業所説明会を積極的に行うとともに、人材広告会社等の求人サイトや情報誌を活用した求人活動を行いました。また、地域と共に生きる法人として南富良野町の地域性を重視した福祉サービスを推進するために南富良野町及び関係機関と連携を図った運営に努めました。

また、利用者個々の人権を擁護するとともに、その人らしく心豊かに生きることを尊重したサービスの提供を基本として地域のニーズに対応した地域住民の皆様と交流とふれあいが持てる事業所運営を進めました。

なお、特別養護老人ホーム「ふくしあ」及び「一味園」の運営については、人材不足等による経営的な課題が顕在化しました。

つきましては、平成30年度の重点事項を次のとおり取り組みました。

- (1) 新報酬単価の基準に基づき加算や職員基準を適正に配置し、報酬請求事務を行いました。また、法人全体で、一体的な経営を進め効率的な予算執行を行いました。
- (2) 法人事業は、事業計画に基づいた運営を図るとともに、中長期事業計画に沿ってご利用者の生活環境等の向上を図りました。
- (3) 法人職員の人材確保では、多種・多様な人材を配置できるように、各種求人広告会社の活用を図りつつ、各種学校等への訪問を行い人材の確保に努めました。
また、南富良野町及び南富良野社協との情報交換を進める他、外国人留学生の活用について調査を行いました。
- (4) 2021年度必置の会計監査人に関わる内部統制管理に向けては、事務対応が進まず今後の課題となりました。本部機能の事務組織改革については引き続き検討事項となりました。
- (5) 特別養護老人ホーム「一味園」及び「ふくしあ」の適正化を図るためのあり方検討について南富良野町とも中長期的な展望について協議・検討を進めました。
- (6) 法人の各事業所において福祉サービス者としてご利用者の権利尊重と虐待の内容についての研修会を実施し、ご利用者の権利擁護に努めました。
- (7) 福祉制度の変革と少子化の中で待機者の確保が厳し状況を踏まえて、効率的な予算執行と事業運営の見直しを進めるとともに、待機者の情報収集活動を積極的に行いました。
- (8) 障がい者も高齢者もその人らしく個人を大切に生活ができるように支援・介護サービスの向上に努め、専門的な技術取得の研修会に参加し質の向上に努めました。
- (9) 特別養護老人ホーム「ふくしあ」10周年及び「一味園」40周年の節目を迎えたことで、記念事業を法人及び各事業所、家族会の協力の下で記念事業を開催しました。
- (10) 知的障がい者グループホームにおいて消防法の改正による消防設備整備の適正化と安心で安全な住環境の提供を図るために施設整備を行い利用定員の見直しを図りました。
- (11) 南富良野大乘会の障害者事業と静岡県掛川市の「ねむの木学園」が創設50周年及び町政50周年事業の関連において「ねむの木学園美術展」の開催協力を図り、交流を促進しました。

2. 管理運営について

(1) 役員 (任期：平成 29 年 6 月 13 日から 2019 年度定時評議員会まで)

① 理事 (6 名)

区分	理事長	理 事
氏名	鷹嘴 充子	岩永廣一郎、秋元 忠、山上 隆裕、大宮 光明、東 雅春

② 監事 (2 名)

区分	監 事
氏名	河原 澄和、山西 春美

③ 評議員 (7 名) (任期：平成 29 年 4 月 1 日から 2021 年度定時評議員会まで)

区分	評 議 員
氏名	大居 政則、太田 聡志、後藤 治子、須藤 進、曾慶 乙公、中野 博司、森 敏範

④ 評議員選任・解任委員 (3 名)

(任期：平成 29 年 3 月 7 日から 2021 年度定時評議員会まで)

区分	評 議 員 選 任 ・ 解 任 委 員
氏名	山名 賢一、河原 澄和、中島 正貴

(2) 理事会等を次のとおり開催しました。

日時	出席者	議 案
第 1 回理事協議会 平成30年4月26日 11:00~0:20	理事 6 名 監事 2 名	協議案第 1 号 南富良野大乗会中期施設等整備事業計画(案)について 協議案第 2 号 その他について
第 1 回理事会 平成 30 年 5 月 29 日 12:30~14:30	理事 6 名 監事 2 名	議案第 1 号 平成 29 年度監査報告について 議案第 2 号 平成 29 年度法人(本部)・各事業所の事業実績報告及び本部・各事業所の会計決算について 議案第 3 号 平成 30 年度なみふ〜香房会計補正予算について 議案第 4 号 グループホームびのの新築工事に伴う実施設計委託事業について 議案第 5 号 その他(報告事項)について
第 2 回理事会 平成30年8月30日 11:00~12:30	理事 6 名 監事 2 名	議案第 1 号 南富良野大乗会共同生活援助「びの」建設工事に係る入札案について 議案第 2 号 平成 30 年度南富良野大乗会各事業所の会計予算補正について 議案第 3 号 理事長・業務執行理事の職務遂行状況報告について 議案第 4 号 その他(報告事項)について
第 3 回理事会 平成30年12月19日 16:00~17:00	理事 6 名 監事 2 名	議案第 1 号 各種災害に関わる避難協定等の締結について 議案第 2 号 平成 30 年度南富良野大乗会各事業所の会計予算補正について 議案第 3 号 その他(報告事項等)について
第 4 回理事会 平成31年2月27日 13:30~15:00	理事 5 名 監事 2 名	議案第 1 号 職員処遇改善費について 議案第 2 号 平成 30 年度南富良野大乗会各事業所の会計予算補正について 議案第 3 号 (社福) 南富良野大乗会諸規程の一部改訂について 議案第 4 号 その他(報告事項)について

第5回理事会 平成31年 3月22日 12:00~14:45	理事6名 監事2名	議案第1号 平成30年度ふんぽ〜香房会計予算の補正について 議案第2号 平成31年度(社福)南富良野大乗会・各事業所の事業計画(案)の策定及び本部・各事業所の会計予算(案)の編成について 議案第3号 法人定款の一部改正及び定款変更届等について 議案第4号 理事長・業務執行理事の職務遂行状況報告について 議案第5号 その他(報告事項)について
--------------------------------------	--------------	---

(3) 評議員会を次のとおり開催しました。

日時	出席者	議案
第1回評議員会 平成30年6月19日 13:30~15:00	評議員 5名	議案第1号 平成29年度監査報告について 議案第2号 平成29年度法人(本部)・各事業所の事業実績報告及び本部・各事業所の会計決算について 議案第3号 その他(報告事項)について
第2回評議員会 平成30年 9月 3日 13:30~14:20	評議員 5名	議案第1号 南富良野大乗会共同生活援助「ひめ」建設工事に係る入札等について 議案第2号 その他(報告事項)について
第3回評議員会 平成31年 3月28日 13:30~15:20	評議員 7名	議案第1号 平成31年度(社福)南富良野大乗会・各事業所の事業計画(案)の策定及び本部・各事業所の会計予算(案)の編成について 議案第2号 法人定款の一部改正及び定款変更届等について 議案第3号 その他(報告事項)について

(4) 会計監査等を次のとおり実施しました。

日時	出席	内容(法人、各施設の会計処理等について)
平成30年 5月15、17日	2名	平成29年4月から平成30年3月まで
平成30年 8月20、22日	2名	平成30年4月から平成30年6月まで
平成30年12月6、7日	2名	平成30年7月から平成30年10月まで
平成31年 3月6、7日	2名	平成30年11月から平成31年1月まで

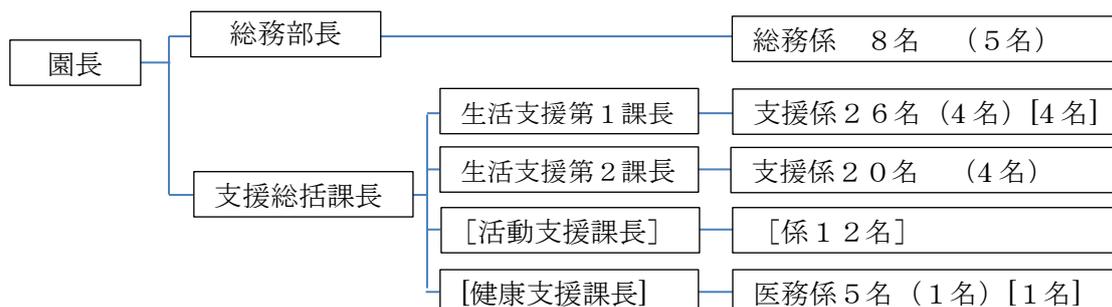
(5) 職員体制

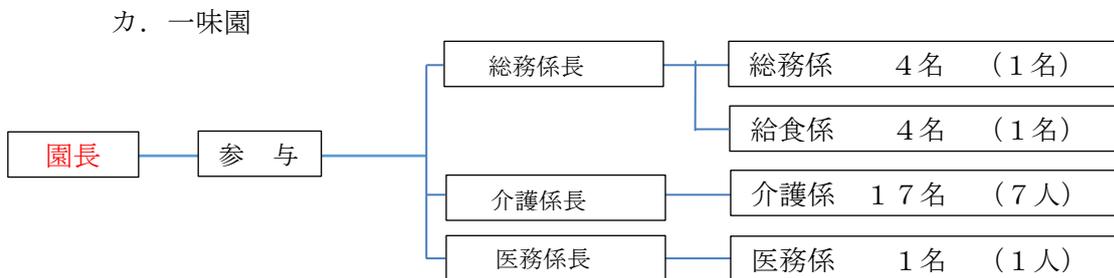
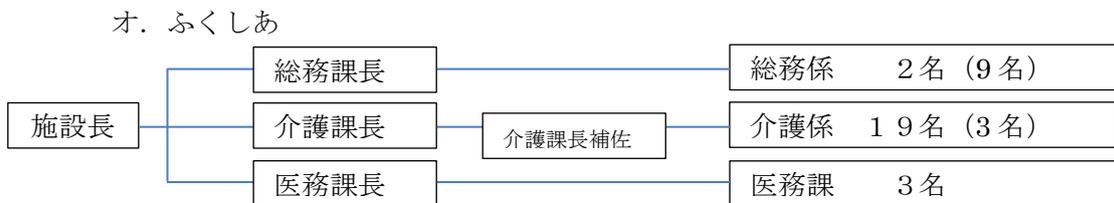
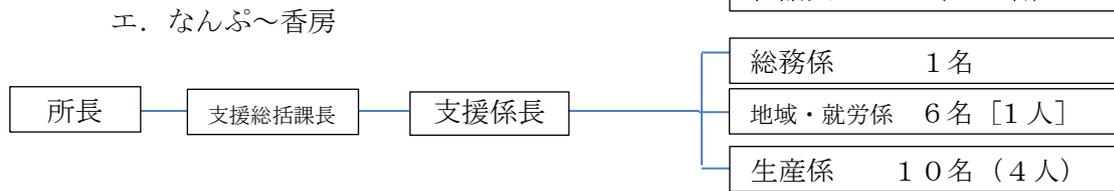
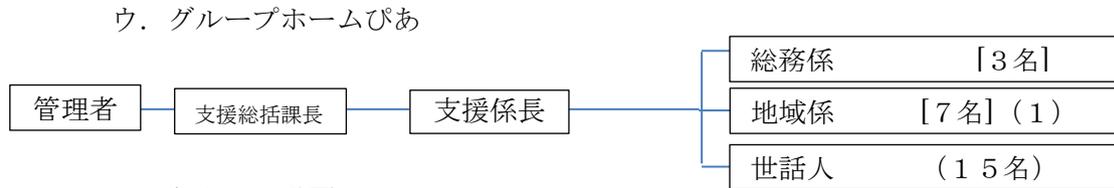
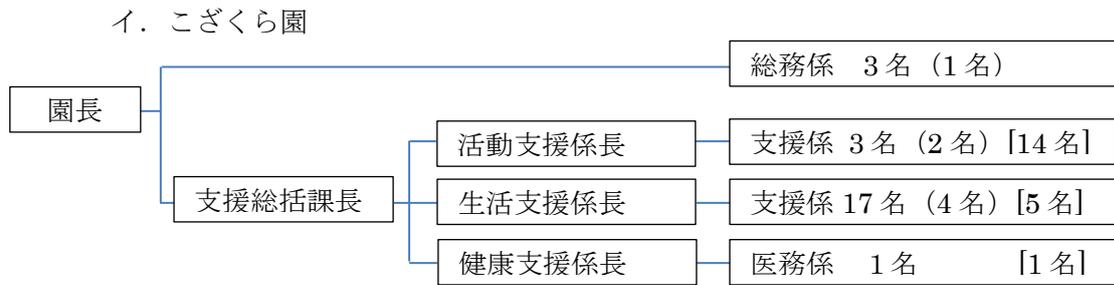
法人の各種組織機能を円滑に推進するために各事業所間の連携を深め、職員組織体制の運用を的確に進めました。

また、職員の補充を進めるために、各種リクルートサイトの活用と広告を適宜展開し、多様な人材が確保できるよう努めました。しかし、各事業所の必要人員の配置確保が大変に厳しく特に、ふくしあでは、依然として必要な職員の配置ができない結果でした。

① 組織(平成31年3月31日現在)

ア. からまつ園





※()内は臨時・パート、[]内は兼務

②職員の退職、採用（正規職員・準職員等）

区 分	退 職			採 用・異 動			計
	年度中	年度末	計	年度中	平成31年4月1日 採用者	異動者	
(1)からまつ園	1 (1)	3	4 (1)	1	3 (3)	0	4 (3)
(2)こざくら園	1	1	2	1	1	1	3
(3)なんぷ〜香房	1	1	2	0	1 (1)	0	1 (1)
(4)グループホームびあ	(3)	(0)	(3)	(2)	(1)	(0)	(3)
(5)ふくしあ	0	2	2	3	1	0	4
(6)一味園	1	4	5	1	1	2	4
合 計	4 (4)	11	15 (4)	6 (2)	7 (5)	3	16 (7)

※からまつ園 産休1

(6) 財務・会計管理

① 社福会計基準に基づき適切に会計処理を行うとともに、会計事務所の指導と専門税理士の管理の上、消費税の納付等の事務手続きを進めるとともに、拠点区分間の会計処理を適切に行いました。

また、新に社会福祉充実残額の算定を適正に行いました。なお、30年度においては、社会福祉充実残額は、生じませんでした。

② 各事業所においては、適正にサービス費の請求事務を行い収入を確保するとともに経費の節約にも積極的に努め効率的な予算執行を進めました。

③ 社会福祉法人制度改革により社会福祉施設職員等退職手当制度の変更に伴い法人職員の退職手当の見直しを図りました。

3. 高齢者事業運営の見直し検討

特別養護老人ホーム「ふくしあ」の経営は、職員の人材不足による利用定員割れが生じていることから運営難であることと、「一味園」の建物・設備劣化等の課題と職員の配置減で収支不均衡が生じていることを踏まえて、南富良野町の高齢者施設事業について南富良野町と今後の方向性について検討会を設置し協議を進めました。

4. 役員研修の実施

次のとおり研修を実施しました。

開催日	内 容
平成30年11月14～16日	研修先：社会福祉法人ベテスタ（三重県：松坂市） 内 容：先進施設の視察研修

5. 法人職員の人材育成と確保

法人事業は、適正な職員の配置により経営が安定することから支援・介護サービスの充実化のために次の取り組みを実施しました。

(1) 南富良野町及び南富良野町社会福祉協議会と協力・連携を図るとともに、情報交換を行い求人活動を実施しました。

(2) 各学校を訪問し、各種ガイダンス、企業説明会に積極的に参加することで、法人求人情報の提供を行うとともに、リクルート会社の活用を図り採用活動を促進しました。

平成31年度の新規学生採用者6名（障害：5名、介護：1名）を正規職員として採用しました。また、その他採用者は2名（障害：1、介護：1名）も正規職員及び南富良野町派遣者として配置をしました。

(3) 法人職員の定着化と人材確保の対策として初任給を見直すとともに修学資金貸付規程の一部見直しを行いました。また、処遇改善加算給付費を活用した一時金を支給しました。

(4) 職員採用では、正規職員化を図り多様な経験を持った職員の採用を推進しました。

(5) 職員組織の活性化を図るために適材適所での異動を実施しました。

(6) 職員のキャリアアップの向上を図るために各種研修会を開催し、職員の専門性の向上に努めました。

(7) 計画的に職場内研修（OJT）と外部研修等を行い、福祉サービス者としての専門性を高める介護・支援の知識と技術の向上を図りました。

6. 法人職員交流事業の実施について

南富良野大乘会職員間の情報交流の場と健康管理の助長を図る目的としてパークゴルフを通じた職員交流会を開催しました。

7. 法人の地域貢献事業について

地域で社会福祉事業を行う法人として、法人の持っている資源を還元ができるように各種事業において法人職員は、できうる限り地域活動への参加と交流促進に取り組みました。

8. 虐待防止対策について

- (1) 各事業所では、虐待防止対策委員会を中心にご利用者支援と介護業務の検証を行い虐待防止に努めました。
- (2) 全職員で虐待防止法や法人虐待対応規程に基づいた権利擁護意識の高揚に努め、利用者個々のケースカンファレンスを随時行い適切に福祉サービスを提供しました。
- (3) 各事業所単位で権利擁護に関する研修会へ計画的に参加するとともに、復命研修についても適宜実施をしました。

9. 安全・衛生管理について

- (1) 各事業所は、事故防止のためにリスク管理意識の向上に努めるとともに、ご利用者の事故発生時には、適切な対応を図り、事故の検証を行い改善対応に努めました。
- (2) 施設の衛生管理においては、日頃から部外者の協力を得ながら感染症対策と予防等に努めましたが、一味園においては、ノロウイルスの集団感染が発生し、富良野保健所の実地指導を受け適切な対応措置を講じて終息を図りました。また、各事業所では、インフルエンザが多様化していることで多数の感染者が発生したことから措置対応を適切に行いました。
- (3) 法人全体で交通規則の遵守意識の高揚を図っていますが、一味園職員で重大な交通違反があり法人賞罰委員会を開催し適切に対応を行いました。また、大きな交通事故が1件発生したことを受けて全職員に交通安全運転について通知を行い公私共に交通安全の意識向上に努めました。

10. 各種災害対策の見直しについて

ご利用者が安心して生活ができるように各事業所において、避難訓練と災害訓練を実施するとともに、社会福祉法人富良野あさひ郷と「災害における避難支援・応援に関する相互協定」を締結し、災害時の相互協力関係を図りました。また、南富良野町とは、「災害時における避難所の設置運営に関する協定」を締結し金山地区の災害時の地域避難所としてふくしあの活用を進めました。なお、緊急時に備えた防災用品等の配置を進めました。

11. 大乘会職員研究発表会について

平成30年度の法人研究発表会は、職員が福祉サービスでの課題に向き合った実践的な研究発表を主体として開催しました。また、例年同様に他法人3事業所の参加得て職員の専門性と資質の向上を図りました。

12. 情報公開・開示について

- (1) 南富良野町住民に対して法人広報誌「大乘会通信」を3回発行し、法人事業の情報を発信しました。

発行	発行日
第45号	平成30年 5月 1日
第46号	平成30年10月 1日
第47号	平成31年 1月 1日

- (2) 法人ホームページでは、経営状況と利用者の活動や人材確保等につながる情報を適宜発信しました。

また、各事業所では、フェイスブックを活用した事業概要・利用者現況等の最新情報を発信しました。

- (3) 各事業所においては、それぞれが行事等を通してご利用者の活動内容の情報提供と交流促進を進めました。

13. 苦情の対応について

苦情受付については、南富良野大乘会苦情解決規程に基づいて対応を進めました。

なお、大きな苦情等の申し出は、特にありませんでした。

14. 個人情報保護等の遵守について

南富良野大乘会個人情報保護に関する規程及び法人就業規則に基づいて適正に情報管理を行いました。